



## 2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月28日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8096 URL <https://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

定時株主総会開催予定日 2022年6月21日

配当支払開始予定日

2022年5月31日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	71,331	8.8	12,687	16.7	12,784	15.8	8,785	19.0
2021年3月期	65,542	8.9	10,870	0.6	11,041	0.4	7,382	0.1

(注) 包括利益 2022年3月期 9,634百万円 (31.4%) 2021年3月期 7,329百万円 (0.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	307.07		14.9	16.2	17.8
2021年3月期	258.11		13.5	15.0	16.6

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	82,446	61,928	75.1	2,162.83
2021年3月期	75,164	56,415	75.0	1,970.26

(参考) 自己資本 2022年3月期 61,885百万円 2021年3月期 56,361百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	7,999	1,074	4,149	49,668
2021年3月期	8,610	884	3,863	46,877

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		65.00		70.00	135.00	3,861	52.3	7.1
2022年3月期		75.00		80.00	155.00	4,435	50.5	7.5
2023年3月期(予想)		75.00		80.00	155.00		51.6	

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	2.7	5,950	2.1	6,000	2.1	4,000	4.5	139.81
通期	72,000	0.9	12,750	0.5	12,800	0.1	8,600	2.1	300.58

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	28,633,952 株	2021年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	2022年3月期	20,992 株	2021年3月期	28,039 株
期中平均株式数	2022年3月期	28,610,883 株	2021年3月期	28,603,596 株

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	61,367	7.7	8,380	14.4	9,657	10.1	7,131	12.4
2021年3月期	57,005	8.7	7,328	3.6	8,775	5.4	6,345	5.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	249.25	
2021年3月期	221.83	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年3月期	67,287		50,632		75.2		1,769.57	
2021年3月期	62,278		46,664		74.9		1,631.28	

(参考) 自己資本 2022年3月期 50,632百万円 2021年3月期 46,664百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(表示方法の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国内におけるワクチン接種の促進や各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが続いている一方で、感染力の強い新たな変異株の発生による同感染症の再拡大に加え、資源価格の上昇やロシアによるウクライナへの軍事侵攻を巡る国際情勢不安も重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内IT業界におきましては、サプライチェーンの混乱に伴う供給面の制約や半導体をはじめとする部材不足などの影響により不透明感が増す一方で、コロナ禍におけるニューノーマルの定着に伴い、ライフスタイルやワークスタイルの変化により企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は一層加速しました。さらに、ランサムウェアなど高度化・多様化したサイバー攻撃の急増に伴うセキュリティ対策需要に加え、人手不足を背景とした業務効率化や自動化のための戦略的なIT投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」「ネットワーク」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業成長に向け、顧客基盤や事業領域の拡大・深耕を図ることを目的に、2021年5月にキーウェアソリューションズ株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、713億3千1百万円、前年同期比57億8千8百万円(前年同期比8.8%増)の増収となりました。営業利益は、126億8千7百万円となり、前年同期比18億1千7百万円(前年同期比16.7%増)の増益、経常利益は、127億8千4百万円となり、前年同期比17億4千2百万円(前年同期比15.8%増)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、係争中の訴訟の和解が成立し和解金の受取が発生したことなどにより、87億8千5百万円となり、前年同期比14億2百万円(前年同期比19.0%増)の増益となりました。

※1 3K(スリーケー)：「KEL Briefing Center(KBC)」、「KEL Custom Cloud(KCC)」、「KEL Managed Service(KMS)」から成るサービスビジネス群

#### セグメントの状況

##### (システム事業)

システム事業の売上高は、508億円となり、ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比43億9千5百万円(前年同期比9.5%増)の増収となりました。

##### (サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、205億3千万円となり、システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比13億9千2百万円(前年同期比7.3%増)の増収となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、750億3千1百万円となりました。これは、現金及び預金が27億9千万円、受取手形及び売掛金が15億9千万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて19.9%増加し、74億1千5百万円となりました。これは、投資有価証券が18億5千7百万円増加したことなどによります。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、179億6千6百万円となりました。これは、未払法人税等が7億4千6百万円、支払手形及び買掛金が4億6千5百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、25億5千1百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が1億9百万円増加したことなどによります。

### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、619億2千8百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益87億8千5百万円の計上および配当金41億4千8百万円の支払いにより、利益剰余金が46億3千7百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.0%から75.1%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」）は496億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億9千万円（6.0%）の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げ、売上債権の回収などにより、79億9千9百万円の収入（前年同期は86億1千万円の収入）となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得、有形及び無形固定資産の取得などにより、10億7千4百万円の支出（前年同期は8億8千4百万円の支出）となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、41億4千9百万円の支出（前年同期は38億6千3百万円の支出）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第50期 2018年3月期	第51期 2019年3月期	第52期 2020年3月期	第53期 2021年3月期	第54期 2022年3月期
自己資本比率 (%)	71.9	72.4	73.6	75.0	75.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	139.7	140.3	135.4	142.0	133.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.2	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	13,760.0	16,089.3	18,122.4	171,985.3	3,482,484.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

3 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

国内経済におきましては、国内におけるワクチン接種の促進は進んでいるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期ははまだ見通しが立たず、引き続き一定程度の社会経済活動の抑制が予想されます。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に伴い、世界的なインフレの助長や地政学的リスクが高まり、サプライチェーンの混乱に伴う供給面の制約や資源価格の上昇など、消費の下振れリスクが懸念されます。

IT市場におきましては、引き続き供給面の制約による納期遅延リスクなどに注意する必要があるものの、企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の必要性は高まってきており、事業のさらなる拡大や新規事業の創出に加え、SDGsをはじめとする社会課題の解決に向けたITの役割は拡大していくものと予想されます。

当社グループは強固な顧客基盤と技術力に裏打ちされたマルチベンダーとしての強みを活かし、これまで同様、お客様に最適な環境を提案し、ITインフラ基盤の設計、構築から保守、運用まで一貫したサービスをワンストップで提供し、こうした需要の増加に応じてまいります。また、3K(スリーケー)を中心としたサービスビジネスのさらなる拡販に加え、資本・業務提携を含むアライアンスによる付加価値の協創と新規事業領域の開拓など、当社グループが持続的に成長するための積極的な投資を行う予定です。

以上により、当社グループの2023年3月期の業績見通しは以下を予定しております。なお、当社は単独決算業績予想を開示しておりません。

#### 次期（2023年3月期）の業績見通し

	第2四半期（累計）		通期	
	予想値（百万円）	前年同期比（%）	予想値（百万円）	前年同期比（%）
売上高	35,000	2.7	72,000	0.9
営業利益	5,950	△2.1	12,750	0.5
経常利益	6,000	△2.1	12,800	0.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	△4.5	8,600	△2.1

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主の皆様への利益還元につきましては、長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針としております。

2022年3月期の期末配当金につきましては、上記方針に加え当連結会計年度の業績が前期を上回る結果になったことから、株主の皆様の日ごろのご支援にお応えすべく、1株につき10円増配し、80円に修正いたします。また、2021年12月に中間配当金として1株当たり75円の配当を実施しておりますので、当期の年間配当金は155円（連結配当性向50.5%）となる予定です。

なお、期末配当金は、2022年5月13日開催予定の取締役会において正式に決定する予定です。

2023年3月期の配当金につきましては、中間配当金75円、期末配当金80円（年間配当金155円）とする予定です。

## 次期（2023年3月期）の配当予想

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
2023年3月期 配当予想	75	80	155
2022年3月期 配当予想	75	80	155

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社および連結子会社の事業は現在日本国内中心であることから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,877,658	49,668,376
受取手形及び売掛金	16,218,110	17,808,143
棚卸資産	1,997,085	3,146,103
その他	3,888,224	4,409,190
流動資産合計	68,981,078	75,031,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,098,688	1,089,297
その他(純額)	962,834	749,512
有形固定資産合計	2,061,523	1,838,810
無形固定資産		
その他	843,991	758,842
無形固定資産合計	843,991	758,842
投資その他の資産		
投資有価証券	913,538	2,770,787
繰延税金資産	1,342,731	1,035,525
その他	1,029,677	1,018,745
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	3,278,303	4,817,413
固定資産合計	6,183,817	7,415,067
資産合計	75,164,896	82,446,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,732,807	8,198,715
未払法人税等	1,829,831	2,576,420
前受収益	3,224,808	—
契約負債	—	3,463,319
賞与引当金	1,125,714	1,235,705
役員賞与引当金	142,700	144,200
その他	2,247,526	2,348,371
流動負債合計	16,303,388	17,966,731
固定負債		
退職給付に係る負債	1,837,932	1,947,931
資産除去債務	589,330	585,572
その他	18,867	17,887
固定負債合計	2,446,130	2,551,390
負債合計	18,749,518	20,518,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,138,453	7,159,524
利益剰余金	39,802,387	44,439,446
自己株式	△26,170	△20,208
株主資本合計	55,945,928	60,610,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,455	1,179,326
繰延ヘッジ損益	△15	△512
為替換算調整勘定	79,125	94,998
退職給付に係る調整累計額	115,552	1,222
その他の包括利益累計額合計	415,116	1,275,035
非支配株主持分	54,332	43,702
純資産合計	56,415,378	61,928,758
負債純資産合計	75,164,896	82,446,880

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	65,542,459	71,331,366
売上原価	45,596,364	49,241,677
売上総利益	19,946,094	22,089,689
販売費及び一般管理費	9,075,426	9,401,735
営業利益	10,870,667	12,687,953
営業外収益		
受取利息	5,329	5,415
受取配当金	14,813	18,958
受取保険金	100,000	—
助成金収入	13,513	22,069
受取立退料	—	15,649
雑収入	38,610	35,753
営業外収益合計	172,267	97,845
営業外費用		
支払利息	50	2
雑支出	1,007	1,294
営業外費用合計	1,057	1,296
経常利益	11,041,878	12,784,502
特別利益		
固定資産売却益	—	1,571
受取和解金	—	180,000
ゴルフ会員権売却益	2,170	4,417
特別利益合計	2,170	185,989
特別損失		
固定資産除却損	107,062	11,162
投資有価証券売却損	450	1,113
ゴルフ会員権評価損	—	4,300
投資有価証券評価損	—	2,445
特別損失合計	107,513	19,022
税金等調整前当期純利益	10,936,535	12,951,469
法人税、住民税及び事業税	3,481,442	4,242,499
法人税等調整額	71,906	△64,525
法人税等合計	3,553,349	4,177,973
当期純利益	7,383,185	8,773,495
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	272	△11,955
親会社株主に帰属する当期純利益	7,382,913	8,785,451

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	7,383,185	8,773,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,053	958,871
繰延ヘッジ損益	318	△496
為替換算調整勘定	7,425	17,198
退職給付に係る調整額	△102,308	△114,329
その他の包括利益合計	△53,511	861,244
包括利益	7,329,674	9,634,740
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,326,338	9,645,370
非支配株主に係る包括利益	3,335	△10,630

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,031,257	7,112,350	36,280,689	△32,045	52,392,252
当期変動額					
剰余金の配当			△3,861,214		△3,861,214
親会社株主に帰属する当期純利益			7,382,913		7,382,913
自己株式の取得				△2,041	△2,041
自己株式の処分		26,102		7,917	34,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		26,102	3,521,698	5,875	3,553,676
当期末残高	9,031,257	7,138,453	39,802,387	△26,170	55,945,928

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	179,401	△334	74,762	217,861	471,691	50,996	52,914,939
当期変動額							
剰余金の配当							△3,861,214
親会社株主に帰属する当期純利益							7,382,913
自己株式の取得							△2,041
自己株式の処分							34,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	41,053	318	4,362	△102,308	△56,574	3,335	△53,238
当期変動額合計	41,053	318	4,362	△102,308	△56,574	3,335	3,500,438
当期末残高	220,455	△15	79,125	115,552	415,116	54,332	56,415,378

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,031,257	7,138,453	39,802,387	△26,170	55,945,928
当期変動額					
剰余金の配当			△4,148,393		△4,148,393
親会社株主に帰属する当期純利益			8,785,451		8,785,451
自己株式の取得				△1,225	△1,225
自己株式の処分		21,071		7,187	28,258
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		21,071	4,637,058	5,962	4,664,091
当期末残高	9,031,257	7,159,524	44,439,446	△20,208	60,610,020

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	220,455	△15	79,125	115,552	415,116	54,332	56,415,378
当期変動額							
剰余金の配当							△4,148,393
親会社株主に帰属する当期純利益							8,785,451
自己株式の取得							△1,225
自己株式の処分							28,258
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	958,871	△496	15,873	△114,329	859,918	△10,630	849,288
当期変動額合計	958,871	△496	15,873	△114,329	859,918	△10,630	5,513,380
当期末残高	1,179,326	△512	94,998	1,222	1,275,035	43,702	61,928,758

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,936,535	12,951,469
減価償却費	616,859	761,070
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,219	109,990
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	64,993	54,066
受取利息及び受取配当金	△20,142	△24,374
支払利息	50	2
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,571
固定資産除却損	107,062	11,162
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△2,170	△4,417
ゴルフ会員権評価損	—	4,300
投資有価証券売却損益 (△は益)	450	1,113
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,445
受取和解金	—	△180,000
売上債権の増減額 (△は増加)	620,226	△1,589,190
棚卸資産の増減額 (△は増加)	120,478	△1,147,632
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△103,272	△197,604
仕入債務の増減額 (△は減少)	216,271	481,750
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△302,026	344,088
その他	△137,093	△81,099
小計	12,063,002	11,495,569
利息及び配当金の受取額	20,189	24,373
利息の支払額	△50	△2
保険金の受取額	100,000	—
法人税等の支払額	△3,573,041	△3,520,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,610,100	7,999,265
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△5,218	△480,387
投資有価証券の売却による収入	10	1,636
有形及び無形固定資産の取得による支出	△807,007	△415,364
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	1,711
差入保証金の差入による支出	△85,217	△137,273
差入保証金の回収による収入	9,623	14,249
資産除去債務の履行による支出	—	△42,424
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	3,250	△16,103
その他	△250	△975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884,808	△1,074,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,861,214	△4,148,393
その他	△2,041	△1,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,863,256	△4,149,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,301	16,002
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,867,336	2,790,717
現金及び現金同等物の期首残高	43,010,322	46,877,658
現金及び現金同等物の期末残高	46,877,658	49,668,376

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、この変更による当連結会計年度の連結財務諸表へ与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、当連結会計年度より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による当連結会計年度の連結財務諸表へ与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(資産の部)

前連結会計年度において、独立掲記していた「流動資産」の「リース投資資産」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しています。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「リース投資資産」9,251千円、「その他」3,878,972千円は、「その他」3,888,224千円として組替えています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、総合情報システムの提案、システムインテグレーション、ネットワークインテグレーション、ソフトウェア開発等を行う「システム事業」および運用管理サービス、アウトソーシングサービス、システムの保守サービスを行う「サービス・サポート事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場価格に基づいております。

なお、当社グループは、内部管理上、報告セグメントに資産を配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	46,404,746	19,137,712	65,542,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	292,398	478,314	770,712
計	46,697,144	19,616,026	66,313,171
セグメント利益	7,103,418	3,739,506	10,842,924
その他の項目			
減価償却費	398,833	217,807	616,641

(注) 資産については、報告セグメントに配分された資産がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	50,800,688	20,530,677	71,331,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,658	369,025	482,684
計	50,914,347	20,899,703	71,814,050
セグメント利益	8,530,157	4,032,164	12,562,321
その他の項目			
減価償却費	451,339	309,730	761,070

(注) 資産については、報告セグメントに配分された資産がないため、記載しておりません。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

売上高	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
報告セグメント計	66,313,171	71,814,050
セグメント間取引消去	△770,712	△482,684
連結財務諸表の売上高	65,542,459	71,331,366

利益	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
報告セグメント計	10,842,924	12,562,321
セグメント間取引消去	27,743	125,632
連結財務諸表の営業利益	10,870,667	12,687,953

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,970.26円	2,162.83円
1株当たり当期純利益金額	258.11円	307.07円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	7,382,913	8,785,451
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	7,382,913	8,785,451
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,603	28,610

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	56,415,378	61,928,758
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	54,332	43,702
(うち非支配株主持分(千円))	(54,332)	(43,702)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	56,361,045	61,885,056
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	28,605	28,612

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

# 2022年3月期 連結決算ハイライト (日本基準)

## ■売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増収増益。

◇売上高	71,331 百万円	8.8 %
◇経常利益	12,784 百万円	15.8 %
◇親会社株主に帰属する当期純利益	8,785 百万円	19.0 %
◇ROE (自己資本当期純利益率)	14.9 %	1.4 pt

(%,pt表示は対前期増減率)

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:百万円)	2022/3末	2021/3末	前期末比	増減率(%)
総資産	82,446	75,164	7,281	9.7
流動資産	75,031	68,981	6,050	8.8
固定資産	7,415	6,183	1,231	19.9
負債	20,518	18,749	1,768	9.4
流動負債	17,966	16,303	1,663	10.2
固定負債	2,551	2,446	105	4.3
純資産	61,928	56,415	5,513	9.8
自己資本 (注1)	61,885	56,361	5,524	9.8
自己資本比率 (注2)	75.1%	75.0%	0.1pt	-

■資産  
流動資産は、現金及び預金が27億9千万円、受取手形及び売掛金が15億9千万円増加したことなどにより、前期末比60億5千万円(前期末比8.8%増)の増加。固定資産は、投資有価証券が18億5千万円増加したことなどにより、前期末比12億3千万円(前期末比19.9%増)の増加。

■負債  
流動負債は、未払法人税等が7億4千6百万円、支払手形及び買掛金が4億6千5百万円増加したことなどにより、前期末比16億6千3百万円(前期末比10.2%増)の増加。固定負債は、退職給付に係る負債が1億9百万円増加したことなどにより、前期末比1億5百万円(前期末比4.3%増)の増加。

■純資産  
純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益87億8千5百万円の計上による増加と、配当金41億4千8百万円の支払いによる減少などにより、前期末比55億1千3百万円(前期末比9.8%増)の増加。この結果、自己資本比率は75.1%となりました。

損益の状況						
(単位:百万円)	2022/3期 通期	2021/3期 通期	前年同期比	増減率(%)	2023/3期 通期 業績予想	前期比 増減率(%)
売上高	71,331	65,542	5,788	8.8	72,000	0.9
売上総利益	22,089	19,946	2,143	10.7	-	-
販売費及び一般管理費	△ 9,401	△ 9,075	△ 326	3.6	-	-
営業利益	12,687	10,870	1,817	16.7	12,750	0.5
営業外収益	97	172	△ 74	△ 43.2	-	-
営業外費用	△ 1	△ 1	0	22.7	-	-
経常利益	12,784	11,041	1,742	15.8	12,800	0.1
特別利益	185	2	183	8467.3	-	-
特別損失	△ 19	△ 107	88	△ 82.3	-	-
税金等調整前当期純利益	12,951	10,936	2,014	18.4	-	-
法人税等	△ 4,177	△ 3,553	△ 624	17.6	-	-
当期純利益	8,773	7,383	1,390	18.8	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	8,785	7,382	1,402	19.0	8,600	△ 2.1

■売上高  
売上高は、713億3千1百万円となり、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図ったことと、前年同期比57億8千8百万円(前年同期比8.8%増)の増収。

■利益  
営業利益は、126億8千7百万円となり、前年同期比18億1千7百万円(前年同期比16.7%増)の増益。経常利益は、127億8千4百万円となり、17億4千2百万円(前年同期比15.8%増)の増益。親会社株主に帰属する当期純利益は、87億8千5百万円となり、前年同期比14億2百万円(前年同期比19.0%増)の増益。

※1 3K(スリーケー):「KEL Briefing Center (KBC)」、「KEL Custom Cloud (KCC)」、「KEL Managed Service (KMS)」から成るサービスビジネス群

1株当たり当期純利益 (円)	307.07	258.11	48.96	19.0
----------------	--------	--------	-------	------

セグメント情報						
(単位:百万円)	売上高			セグメント利益		
	2022/3期 通期	2021/3期 通期	前年同期比	2022/3期 通期	2021/3期 通期	前年同期比
システム事業	50,914	46,697	4,217	8,530	7,103	1,426
サービス・サポート事業	20,899	19,616	1,283	4,032	3,739	292
計	71,814	66,313	5,500	12,562	10,842	1,719
その他(含む調整額)	△ 482	△ 770	288	125	27	97
合計	71,331	65,542	5,788	12,687	10,870	1,817

■システム事業  
ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比42億1千7百万円(前年同期比9.0%増)の増収。

■サービス・サポート事業  
システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比12億8千3百万円(前年同期比6.5%増)の増収。

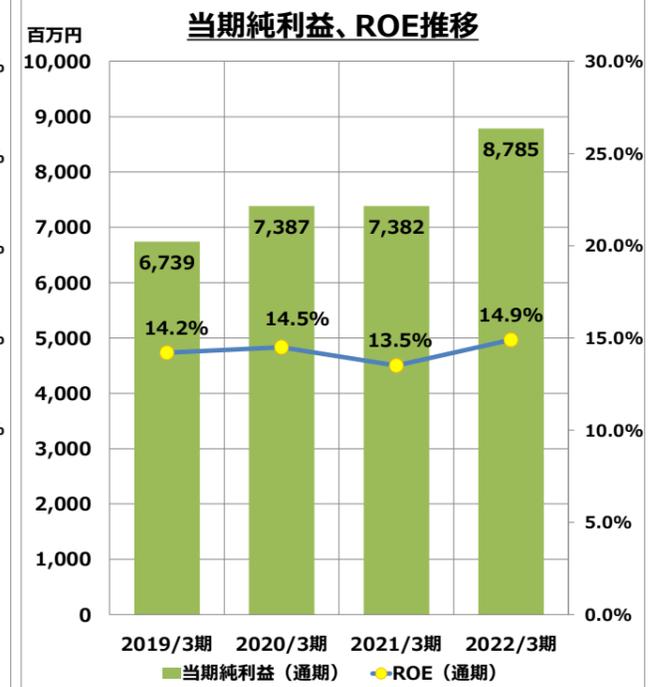
(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産

キャッシュ・フローの状況			配当の状況		
(単位:百万円)	2022/3期 通期	2021/3期 通期	2022/3期	2021/3期	
営業活動によるCF	7,999	8,610	75円	65円	
投資活動によるCF	△ 1,074	△ 884	80円	70円	
フリーキャッシュ・フロー	6,924	7,725	155円	135円	
財務活動によるCF	△ 4,149	△ 3,863	自己資本(百万円)	61,885	56,361
現金及び現金同等物の増減額	2,790	3,867	配当性向(%)	50.5	52.3
現金及び現金同等物の期末残高	49,668	46,877			

■営業活動によるCF  
営業収入の積上げ、売上債権の回収などにより、79億9千9百万円のキャッシュ・イン。

■投資活動によるCF  
投資有価証券の取得、有形及び無形固定資産の取得などにより、10億7千4百万円のキャッシュ・アウト。

■財務活動によるCF  
配当金の支払いなどにより、41億4千9百万円のキャッシュ・アウト。



\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。